



◆創立記念日に表彰
11月30日(月)、病院の創立記念日に併せ、永年勤続表彰が行われた。今年度は30年表彰が1名、同10年が9名、同5年が9名だった。冒頭関谷院長が、表彰をうける職員一人ひとりのエピソードを話しながら感謝と祝福のあいさつを述べると、最後は表彰者を代表して外来の伊藤妙さん(43)が入職してからの思い出を交えながら感謝の辞を述べ、会場は爽やかな感動に包まれた。

◆創設者も発表会



モーレツに素晴らしい作品がギューツとつまっています!

◆デイケア
2021年のデイケアカレンダーが今年も完成。院内数十ヶ所に掲示されるほか、近隣施設にも送りつけ、掲示してもらう予定。カレンダーは約1年をかけたメンバーらが手がけた作品が多数掲載。撮影を担当した門脇真司作業療法士は「みなさんの作品の良さが損なわれないよう意識して撮影しました」とプロのカメラマン気取りで話した。

◆音楽のチカラ



ふたりは〜二輪車〜♪ (なぜかゴリラ)

今でしよ講座12月のテーマは「音楽のチカラ」。事前に「あなたの好きな音楽は？」と題してスタッフやメンバーにアンケートを実施。そのアンケートをもとに各々がそのお気に入りの歌について熱く語り合った。担当した夏目靖子作業療法士は「わたしのお気に入りにはブリティッシュロック」と意気だったが、実はV6ファンであることはみんなに知られていた。

◆リワーク

2名が専門スタッフに認定
当院のリワークスタッフである神崎順次課長と飯村聡精神保健福祉士がこのほど厳しい審査をくぐりぬけ「日本うつ病リワーク協会」より「リワーク専門スタッフ」より認定された。



輪になってお〜どろ〜♪

「専門スタッフ」とは、より高度な知識と経験を有するスタッフに与えられ、研修会の講師の資格を兼ねる。今回の認定で専門スタッフは大野係長、飯田主任とあわせ計4人となった。同一施設に専門スタッフ4名というのは全国的にも稀で、更なるプログラムの質の向上が期待される。

◆秋季防災訓練を実施
10月30日(金)、震度7の地震発生を想定した防災訓練が開催された。今回はコロナ禍を考慮し、職員のみでの実施となったほか、コロナ禍にも対応した防災バッグの整備もあわせて実施された。防災委員長の北嶋貴広主任は「コロナ対策を同時に行いながらの対応は困難を極めるが、日頃から常に意識を持ち、いざというときに適切に行動できるようお願いしたい」と講評した。

◆外来にテントを設置
外来待合での3密対策として、正面玄関外側に仮設テントが設置された。テント内は暖房器具が置かれ、5人程度であれば

◆洗卵機を新調
楽山・杜の会では養鶏事業で使用する洗卵機が老朽化しており、これを新調することとなった。費用約200万円のうち約半額は「みずほ福祉財団」の助成を受ける。12月4日(金)には記念の式典が執り行われ、関谷理事長が助成決定証書を受け取った。関谷理事長は「利用者は今から社会へ出ていくいわば卵の状態。我々はそれを洗って磨いて社会へ送り出す洗卵機でありたい」と話した。

◆オゾン脱臭機を設置
新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症対策として、送迎車にオゾン脱臭機を導入。全国500台以上の救急車にも搭載されており、脱臭のほか、空気中だけでなくシートなどに付着している菌も除菌できる。施設管理グループの館弘さんは「これにより安心して乗車していただけるようになったのでは」と話した。

◆編集長年頭挨拶
明けましておめでとうございます。ただ本当におめでたいかというところ、こうしてコロナはまだ収まらず、しばらくは我慢が続きそうです。創刊以来毎月発行していたこの養南新聞もコロナでネタが激減、あつてもコロナ対策の記事ばかりというところで、気づけば2カ月1回になってしまいました。どうか来年には終息し、新聞紙上で色んなイベントを賑々しく報告できる日が来ますように。

◆次回のお知らせ
次回の養南新聞は3月号になります。



「鹿子の噂もあるような... ないような...」



発行所
社会医療法人 緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

ぎふストレスケア
クリニック
TEL058-8345
岐阜市菊地町2-4-1
☎058-274-9600

永年勤続表彰に19名



今回30年表彰を受けた三宅よし子さん

クールな伊藤さんの熱い言葉



一瞬だけマスク外して「ハイポーズ！」

◆県医師会でも表彰
また11月28日(土)、岐阜県医師会館にて県医師会の永年勤続表彰があり、当院から3名が表彰を受けた。表彰者3名の喜びの声
大橋勝文看護課長
「当時はまだ男性看護師は看護士と呼ばれていた時代。隔世の感があります」
黒田光則看護係長
昔は心理士さんらと夜勤をやったの思い出します。今の嫁ですが、
有馬新路看護課長
「この20年で私も成長しました(20キロ)。これか

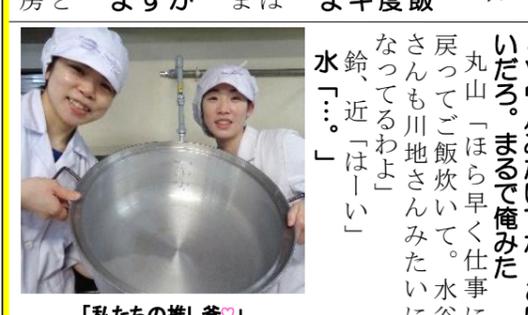
◆ICカード
自動チャージ化へ
院内の自販機や公衆電話、コインランドリー、売店等で使用できるICカード「YOICA(ヨイカ)」。
この度、コロナ対策及び会計窓口の負担軽減を図るため、運営委員会において自動チャージ機を導入することが決まった。外来待合室、売店前、西棟の3ヶ所に設置予定で、現在はチャージできる時間の制限があったが、運用開始後はいつでもチャージができるようになる。運用開始日は1月5日(火)を予定している。



令和とは思えぬフォルム!

◆TCT発足
医療安全委員会では近年アクシデントレポートにおける転倒の割合が多くなっていることを受け、プロジェクトチームTCT(転倒コントロールチーム)を発足することを発表した。

◆食のこだわり
「3代目Jソウル炊飯器」
水谷係長「みんな！炊飯器が新しくなったぞ！今度のはなんと一度に五升7キロを炊けるパワフルさ。まるで俺みたいだ」
鈴木「...はあ。でも数は6釜から4釜に減ってますが」
水谷「そう！だから、弱い女性職員でも運びやすくなった。この優しさ。まるで俺みたいだ」
近藤「...そうですね。ところでこの炊飯器、厨房

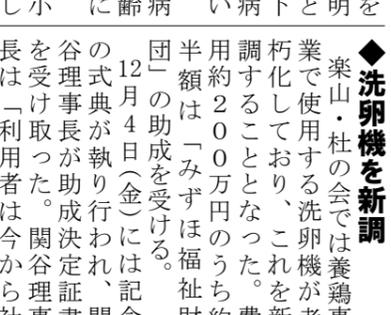


「私たちの推し釜♡」

ができてから3代目なんですわね」
水「そう3代目！なんかJソウルみたいでカッコいいだろ。まるで俺みたい丸山「ほら早く仕事に戻ってご飯炊いて。水谷さんも川地さんみたいにやってみよう」
鈴、近「はい」
水「...」

TCTでは転倒のリスクを減らすべく、その原因究明とその対策を目的とし、宮原陽一診療部長以下メンバーらが、定期的に病棟を巡回し、リスクの高い患者をチェックする。メンバーの佐藤研二南病棟課長は「入院患者の高齢化に伴い、以前より転倒による事故が増えている。このチームで事故を最小限に抑えられれば」と話した。

◆洗卵機を新調
楽山・杜の会では養鶏事業で使用する洗卵機が老朽化しており、これを新調することとなった。費用約200万円のうち約半額は「みずほ福祉財団」の助成を受ける。12月4日(金)には記念の式典が執り行われ、関谷理事長が助成決定証書を受け取った。関谷理事長は「利用者は今から社会へ出ていくいわば卵の状態。我々はそれを洗って磨いて社会へ送り出す洗卵機でありたい」と話した。



上手いこと言ったつもり、関谷理事長(左)